



社会参加委員会便りNo.6

名古屋市高年大学「鯨城学園」学生協議会
社会参加委員会
(名古屋市中区栄1-23-13鯨城学園内)

体育祭や文化祭のため多忙でしたが、当学にとって重要な対外イベントであるボランティア活動も順次実施されましたので報告をします。また今期リニューアルされたボランティアセンター、そしてクラスでの自主的な独自ボランティア活動も取上げてみました。

I. 10/4(土)鶴舞公園クリーンキャンペーン

鯨城学園OB団体である鯨城会主催で、現役生も約310名(参加予定者数で出欠確認は実施されなかった)が参加しました。当日は快晴の天候に恵まれ、予め鶴舞公園の清掃エリアが4区画に分けられ、さらに各区単位にて担当分けされて、現役生も居住区の鯨城会メンバーと一緒に、清掃活動をしました。公園はいつものようにきれいに保たれゴミを拾うよりゴミを探すような感じで物足りなさを痛感しました。清掃中現役生が、軍手の上から蜂に刺され、名大病院へ駆け込むアクシデントもありましたが、大事に至らず助かりました。

II. 10/25(土)秋の藤前干潟クリーン作戦

秋晴れの下、ラムサール条約に登録されている藤前干潟のクリーン大作戦が盛大に開催され、概ね130名の鯨城学園生が参加し、受持ち範囲である藤前活動センター前付近を1時間程度、清掃活動を行いました。当日は、会場が市内とはいえバスでの交通手段しかなく、大勢の参加は不可能でした。各クラス5人の人数制限のもと、事前に社会参加委員会が三重交通と交渉し、バスの増便ができて参加することが出来ました。日差しが強い中、海岸沿の敷石の上を、ペットボトル、空き缶、プラスチック類等多種のゴミをグループ毎に回収しました。特に着色された小さなプラスチック類は野鳥が好んで食べてしまうので注意してたくさん拾いました。貴重な自然の保全活動に参加することが出来て、大変有意義な体験となりました。残念ながら、当日は潮時が合わず干潟が見えませんでした。干潟で鳥が餌を啄ばむ光景を想像しながら、帰途に着きました。

III. 11/8(土)堀川清掃大作戦

鯨城学園環境学科OBの有志で構成される「鯨城・堀川と生活を考える会」が中心となり開催され、鯨城会と現役生も参加しました。11/1の予定で計画されていましたが、あいにくの雨で1週間延期されました。延期の影響があり参加者は当初の予定より減少し282名になりましたが各場所とも滞りなく実施されました。今年は清掃区域が若干変更となり元杖樋門から港新橋までの全長16kmと新堀川堀留から新開橋までを清掃区域とし、全体を11拠点に分割し清掃活動が実施されました。事前抽選によりクラスごとに決められた担当区域を、考える会や鯨城会メンバーと共に現役生がゴミ拾いの清掃活動をしました。なお第4拠点の納屋橋シャムズガーデンでは清掃開始前に中央集会が開催され、役所関係

書き損じ葉書他を集めています

”世界寺子屋運動”にご協力願います。専用ポストは7Fボラセン横に設置しており、葉書のほか未使用の葉書、切手もOKです。もちろん現金でもかまいません。

IV. 陶芸学科(専攻)の取り組み

陶芸学科(専攻)では、陶芸実習施設「楽陶館」周辺の清掃活動を一昨年5月から行っています。活動内容は「楽陶館」バス停前後のバス道路沿い歩道・約700M(バス停1.5区分)の区域を、1, 2年生(約13人づつ)が、夫々年間6回(合計12回)清掃です。水・金曜日の実習講座終了後、ゴミ袋と火鉢を手に持ち、道端や植込みの中に捨てられたタバコの吸い殻や紙屑などを丹念に拾い集めています。特に、夏過ぎには、PETボトルや缶など飲料容器のポイ捨てが目立ちました。最近では、1年生全員が揃いのエプロンを着けて清掃活動を行ったところ、通行人から「ご苦労さま」と声を掛けられる機会が増えた

V. 環境学科(専攻)の取り組み

環境学科(専攻)では、「堀川を清流に！」の思いから水質調査を10年以上続けております。堀川の上流である黒川樋門(夫婦橋)から志賀橋・名城下水処理場・中土戸橋・天王橋・尾頭橋・大瀬子橋の各地点にて、男性陣が採水し、女性陣が伏見ライフプラザ消費生活センターにてPH・COD・アンモニア・塩分・透視度・臭い度の測定を月に2回実施しております。結果はインターネットのホームページ【堀川1000人調査隊】にデータ入力し、公開しています。さらに関係するイベントは下記の他①6月の鍋屋上野浄水場での「水フェスタ」②9月の久屋広場での「環境デーなごや」③11月のインターネットフォーラムで名古屋の水道の源流を訪ね、感謝を込めた交流会があり、それぞれ参加しています。
平成27年2月17日～3月8日まで納屋橋の「堀川ギャラリー」で1年間の測定結果を展示します。

VI. 園芸学科(専攻)の取り組み

園芸学科(専攻)は今年、農場で収穫した野菜の一部を社協の紹介により名古屋市内11カ所の児童養護施設へ配るボランティア活動を実施しました。クラスはもちろん、社協、先生、協議会のオール鯉城で立上げ、6月は新玉ねぎ、7月には茄子・ピーマン、10月はサツマイモを配達しました。野菜の量は1回の持ち込み量としては十分な収穫物がクラス員より供出され、各施設とも大変喜んで受取ってくれました。相手の顔の見える活動はやりがいがあり、丁寧なお礼状やそれとともに送られてくる子供の描いた絵や写真を見ると本当に癒され、やってよかったという気持ちになります。またサツマイモから29期生も加わって大変盛り上がり、来年も引継ぐことが計画されております。小さな活動でしたが、在学中にクラス全員で新しい形の社会貢献ができたことは大きな意義があります。

VII. ボランティアセンター

ボランティアセンターの様態替えをして半年、一人でも多くの在校生が自分に合ったボランティア活動に巡り合えるようにと活動してきました。社会参加委員も各学科2名体制となったことから一学期12回、二学期からは時間を30分延長し11月まで16回のセンター当番制による社会参加サロンの開設で対応してきました。開設当時は来訪者ゼロの連続でしたが、二学期に入りクラス社会参加委員のクラスミーティングでの告知活動等により、徐々にですが来訪者も増え掲示板へのボランティア活動に対する関心も高まってきました。ボランティア活動とは「人とのつながり・ふれあい」を通して相手がそれによって支えられ、自分もそこで育てられていく(共生)事を在校生にボランティアセンターを使い広めていきます。



今年度、残りのボランティア予定
3/8(日)名古屋ウィメンズマラソン
* 義援金街頭募金は無くなりました。



編集後記:何かとイベントが多い2学期も終わりが近づいてきました。今回は新しい試みでクラスのボランティア活動を取り上げてみました。今回の3クラス以外で活動がありましたら記事にさせていただき公開したいと思いますのでご一報をお願いします。